

地球温暖化防止の CO₂ 削減・水素事業へ参加のご案内

世界初 CO₂削減・利用、低コストオンデマンド水素発生装置の市場投入

はじめに

このたび(株)未来環境エナジーは、掲記テーマに関して、長年の研究・開発により、実用レベルの解決策をご提供できる段階に至りました。これらのテーマ関係の機関・企業の皆様と、協業するご提案を下記にご説明します。

1. 背景と見解

地球温暖化のスピードが予想を超え CO₂ 削減が今の計画で進むとしても、海面上昇や気候変動でとてつもない代償を世界は払う事になります。国家レベル・企業レベルで様々な取組みが開始されていますが、このままでは、以下のような問題・課題が想定されます。

①原子力発電

原子力発電は、福島原発事故に見られる様に、災害リスク、テロや戦争等のリスクを除けば温暖化防止には最善の発電方法と言えますが、リスクを完全に排除するには、海岸や大河川に近い所に 300m 以下の地下空間を作り、万一の事故の際にも豊富な水を注入し封じ込める地下構築方式が良いでしょう。

②現在の水素利用

水素の本格利用の時代を迎えた事も素晴らしい現実ですが、海外での火力発電のエネルギーで天然ガス、褐炭から取り出す水素、更に海外から化石燃料で動く大型船での輸送等の経済的無駄はエネルギー自給原則の目的に反しているのではないのでしょうか。

2. 当社のアプローチ

①水素関連

水素は水の電気分解等でも作れますがコストが掛かり過ぎ非現実的です。当社提案の解決方法は大気中の窒素分子 N を分解し水素 H と酸素 O に分ける理論、今から約 110 年前にアーネスト・ラザフォード博士(ノーベル賞受賞)が発表した『ラザフォード理論: $N + \text{He } \alpha$ 粒子線由来 $\rightarrow H + O$ 』があります。

以来、世界の多くの科学者により研究されてきましたが、今日の急激な水素供給のニーズを予期できず実現されませんでした。

弊社は、地球上の全ての気体状の分子結合を瞬時に乖離出来る能力に着眼し、長年の研究・開発を進めた結果、以下のような解決策を試作・実証しています。

○有害ガス、臭いの分解無害化: 福島原発事故処理企業で採用、現在稼働中

○燃焼機関から発生する水蒸気から水素の取出: バイオマスガス化プラント AMATERAS 搭載

○大気中窒素 N の分解で水素 H を得る: ラザフォード理論の再現技術

これらを実現できるのは特許装置「**水素エネルギー α: 分子乖離・結合装置**」です。この装置の最大の特徴は、電気、熱、圧力等をほとんど必要とせず、安全で取り扱い易く、140億年間 α 粒子線エネルギーを放出する、高純度のトリウムを加工した装置です。イニシャルコストを掛けられ

ばランニングコストはほぼゼロで水素社会を実現出来ます。これにより大気中の80%を占める豊富な窒素 N があればオンデマンドで水素供給出来る夢の時代を拓きます。



水素エネルギー α 分子乖離・結合装置



ESP 電気集塵ガス精製装置

②CO₂ 削減

現在稼働する火力発電所、石炭・石油を焚く工場等、大量の CO₂ を発生する施設・装置は、現行のままの燃料を使い、排出した「CO₂ を全て回収し、大型の水素エネルギー α 装置・システムで瞬時に CO ガスに変換し、補助燃料として循環利用」をすることができますので、これらの施設から排出する CO₂ は全廃でき、再エネルギー利用で、燃焼効率向上が実現できます。

3. 主要対象市場(国内、海外)

水素市場

- ①自動車会社
- ②燃料電池

CO₂市場

- ①世界各国・企業・団体
- ②焼却施設を持つ自治体
- ③CO₂削減値を求められている企業:石油・石炭火力発電、工場等CO₂削減要求企業
- ④弊社バイオマスシステム「アマテラス」設置先

4. 事業協業のご案内

水素エネルギー α は、唯一無二の装置ですから、今世界に最も必要な CO₂ 削減技術は事業展開次第で世界オンリーワン、ナンバーワンの事業展開ができます。

これからご参加頂く皆様と共に、互いの繁栄と地球温暖化防止に最大効果を発揮する素晴らしい事業展開に力をお貸し頂きますよう以下にご案内します。

事業内容

- ①水素エネルギー α 装置の製造
- ②水素エネルギー α 装置のPR・販売・世界的販売網の構築
- ③水素エネルギー α 装置の取り付け・施工

- ④ハイドロエナジー α装置のメンテナンス:CO2 削減測定、装置点検、交換等
- ⑤ハイドロエナジー α関連設備機器のリース、レンタル
- ⑥CO2 削減排出権取引事業:ロンドン、香港他世界市場
- ⑦導入コンサルタント事業

5. おわりに

本事業の概要と協業のフォーメーション等についてご説明してきました。本事業を大規模に推進するためには、多くの皆様との協業が必要です。ご質問・ご要望等に関しましては個別に対応させていただきますので、ご遠慮なくお申し付けください。

以上

株式会社未来環境エナジー
代表取締役 林芳信